

高津高校 SSH 通信



[第29回] KOZU クリエイトラボ・セミナー

106年の歴史を持つ高津高校。GLHS 委員会と同窓会が協力し、「君たちにもっと刺激を与える!」そんな気持ちで企画した、高津高校 OBOG による、高津生のための特別講演会。それが「KOZU クリエイトラボ・セミナー」です!! このセミナーでは、講師が高津高校の卒業生、開催場所も高津高校であり、月1回のペースで実施しています。

第29回目の今回は、「“好き”と“未来”を仕事にした私のキャリアデザイン」というテーマでご講演をいただきました。「日本は他の国に比べて海外留学したいと思う学生の数が少ないと言われており、実際にコロナ明けでもコロナ以前にも戻っていないのが現状です。また、日本の起業意識も他の国に比べても少ないようです。私自身が経験し、感じたこと、考えたことで将来海外に出たい、起業したいと思う学生にヒントになれば」。そうしたメッセージを込めてご講演いただきました。

講師の「この会社に残ってやる●●の仕事は他の誰かでもできるかもしれないけれど、日本文化の衰退に危機感を持ち、これを継承していくという役割は、自分にしかできない！」と、こうした熱い思いをもって企業なさったというお話が非常に印象的でした。そしてこうした思いになったきっかけは、留学を通して、外から日本を見たことがきっかけであったとのことでした。こうしたお話から、何かのきっかけを得るのも「行動力」、得たきっかけで何かを成し遂げるのも「行動力」、すべては行動力が大切なんだと感じました。高校生という比較的時間の余裕のある時期にたくさんの経験をし、「これに人生をかけたい！」というくらいの何かを見つけてくれたらなど、高津生に期待しています！

社会への危機感・起業の芽生え

- 毎月海外出張で日本の工芸品の危機感
- 百均、中国製品の普及による危機感

日本のものづくりの弱点：
作り手=使い手の時代から多様化、グローバル化
日本にマーケティング手法が必要

メッセージ：
「社会への危機感」から
ビジネスの種は生まれる
※経験で得た知識で課題解決へ

文責：吉光（社会科）